

1 今年度の取り組みと自己評価

【自己評価の基準】

A：十分達成できた B：おおむね達成できた C：あまり達成できなかった D：まったく達成できなかった

(1) 教育活動への取組と自己評価

取組目標	実施した方策	主な評価指標	自己評価
<p><b>学校経営・組織体制</b></p> <p>【1.組織化・危機管理】 個々のコンプライアンスが学校改革レベルになる。それぞれの分掌業務が他の分掌に好影響を与える。◎学校全体が互いに切磋し向上するチームになる。</p> <p>【2.特色化】引き続き特色ある教育活動を計画する。開設時に準備した取組を実施し効果を得る。実施した取組を形式知化し波及させる。</p> <p>【3.人材育成、授業力向上、研修】ラーニング・オーガナイザーを育成する。個々の授業力が高水準になる。個々の業務遂行力が高水準になる。</p> <p>【4.ライフ・ワーク・バランス】本校スタッフ全員が生徒のロールモデルになる。「チームがワークする」組織になる。</p> <p>【5.施設・設備の整備】 ○学びやすい環境が作られている。安心安全が確保されている。居心地が良い空間になっている。</p> <p>【6.教育の情報化】個別最適化への支持が高い。種々の情報が活用しやすい。図書館の利用頻度が高い。</p> <p>【7.予算編成】予算執行が滞りなく適正である。予算編成作業が効率化できている。予算が効果的に編成されている。</p>	<p>目標の明確化。自己申告制度の活用。分掌会・教科会の定例化。企画調整会議と職員会議のデジタル化。</p> <p>特色化担当によるWGの立ち上げ。会議での経過及び実施報告。学校要覧の作成。開設準備及び開校1年目の取り組みについてまとめた紀要の着手。</p> <p>校内研修・OJTの実施。先進校視察の実施。国・都、民間の研修参加の促進。授業観察・授業見合の実施。</p> <p>イクボス宣言の実施。キャリア教育・産社の共有。学校業務支援員の活用。</p> <p>学習環境の整備・保全。デジタル環境の整備。居場所空間の確保。</p> <p>小台橋デジタルスクール構想の実施。校務支援システムの習熟。図書館活用指針の共有。</p> <p>令和4年度自律経営予算及び開校準備予算の執行。令和5年度自律経営予算及び初度調弁の予算化。</p>	<p>私は、小台橋高校の3つのポリシーを生徒や保護者に説明している（教員75.0%）。 私は、関連の部署と協力して日常の教育活動に当たっている（教員96.4%）。</p> <p>私は、学校経営計画に基づいて特色ある学校づくりに参画している（教員96.4%）。小台橋高校は、特色のある学校だ（地域97.4%）。</p> <p>私は、分かりやすい授業をしている（教員100.0%）。 私の授業では、生徒は意欲的に学習に取り組んでいる（教員82.1%）。</p> <p>私は、仕事が充実していると感じている（教員60.7%）。</p> <p>小台橋高校の施設・設備は整備されている（保護者74.4%）。</p> <p>小台橋高校では、自分に合った授業が行われている（生徒83.4%）。</p>	<p>【達成度 B】</p> <p>学校経営計画を定量化しうる目標とし学校評価に反映させた。コンプライアンス水準が高水準であった。学校全体が関連部署と協力するチームとなった。</p> <p>特色化PTを5回実施しデジタルリーディングハイスクール研究指定校の活動に取り組んだ。学校要覧を作成、研究紀要は作成に着手した。</p> <p>校内研修を月1回実施し、Teams活用の校内研修も実施した。先進校視察は4件実施した。国・都、民間の研修参加を促進し、授業見合を教員1人につき平均2回実施した。</p> <p>休暇等の取得支援を行いライフ・ワーク・バランスの推進を図った。ICT支援員・副校長マネジメント支援員の活用を行った。</p> <p>全教室校にWi-Fiを設置しTeamsやFormsを活用した教育活動を推進した。仮設校舎での自習室およびゼミ室や居場所を設置し常時運用を行った。</p> <p>ICT支援員を活用し小台橋デジタルスクール構想を実現した。教務部と年次教務部が連携し校務支援システムの習熟が進んだ。図書館支援員を活用し特色ある図書館運営ができた。</p> <p>初度調弁に特色化のための教材の購入計画を立案した。本校の特色化に資する自立経営予算が編成できた。</p>

<p><b>募集・広報（地域交流等）</b></p> <p>【8.ステークホルダーの活用】本校関係者の訪問数が増加する。○地域の方の評価が高い。</p> <p>【9.式典】出席者の好評を得る。生徒の帰属意識が向上する。</p> <p>【10.募集広報活動】教育関係媒体で好意的に取り上げられる。教育関係者の訪問数が増加する。◎説明会来場者が増加し入選倍率を確保する。</p> <p>【11.入学者選抜】選抜した受検者が本校に適合している。実施が事故なく適正である。</p>	<p>学校運営連絡協議会、学校評価、防災教育推進委員会における意見交換。授業公開の実施。ゼミや課題研究での地域連携の準備。</p> <p>入学式の円滑実施。綿密な実施計画の作成。</p> <p>新設校説明会・学校説明会・願書配布説明会の開催。外部説明会への参加。中学校・適応教室・フリースクール・塾等の訪問。Web、SNS、オンラインを活用した広報を展開。広告記事の配信。</p> <p>入選に関わる課題の共有。実施計画の作成。適切な作文問題の作成。わかりやすい実施要項の作成。</p>	<p>小台橋高校は良い学校だ（地域100%、わからない35.8%）。学校から定期的に情報提供・発信がされている（地域72.7%、わからない32.1%）。</p> <p>記事・番組件数（3）回。教育関係者訪問回数（4）回。学校説明会来場者（のべ933）組、学校説明訪問のべ（328）施設。</p> <p>中進対倍率（1.13）倍、入選応募倍率（1.34）倍。</p>	<p>【達成度 A】</p> <p>学校運営連絡協議会を3回実施し学校評価を実施し協議員の理解を深めた。授業公開を2回実施した。</p> <p>入学式および開校記念式典は綿密に実施要項を作成し成功裏に終わった。開校記念式典2部では校歌の作詞・作曲者に講演をいただき好評だった。</p> <p>学校見学会・説明会を工夫し、追加説明会を実施するなどして多数の参加があった。ホームページの更新や校歌の動画配信等で認知度を高めた。広報活動の成果により入選応募倍率を目標以上に確保できた。</p> <p>本校のアドミッションポリシーを反映した問題を作成し、入学者のマッチングに寄与した。実施要項を工夫し、事故なく適正に実施できた。</p>
<p><b>学習指導</b></p> <p>【12.教育課程の編成】令和5年度教育課程を編成する。○教職員が「小台橋モデル（課題研究を中心とした学びの体系）」を理解し説明できる。全ての教職員が履修登録システムを理解し登録の指導ができる。</p> <p>【13.教務、教科書選定、履修・成績管理】教科書選定に遅滞がなく適正である。全ての教職員が統合型校務支援システムに習熟する。履修・学業成績・出欠席等における生徒の現状が把握できる。</p> <p>【14.学習指導】◎教科・科目において学力向上を図る。体力テストで東京都平均とする。</p>	<p>グランドデザインとシラバスによる指導目標の共有。教科主任会の開催。履修登録システムの構築と時間割の編成。</p> <p>教科書選定委員会の実施。校務支援研修会・OJTの実施。成績会議の実施。</p> <p>年間学習計画の作成。観点別評価の確立。伸び率の定量的な報告。教材の研究と開発の奨励。</p>	<p>私は、小台橋高校のキャリア教育（小台橋モデル）を生徒に説明している。（教員71.4%）。</p> <p>全テストで平均6割維持（数学）。体育が好き25%UP（体育）。3つの楽器で2曲ずつ全員が演奏できた（音楽）。英検2級1名、準2級3名（英語）。Excel関数を全員が使えるようになった（情報）。等々</p>	<p>【達成度 B】</p> <p>履修登録システムをほぼ構築できた。完成年度を視野に入れた時間割が編成できた。教育課程届、教科課程調書を作成し特色ある教育活動を明確化した。</p> <p>教科書選定を遅滞なく実施した。生徒の現状を踏まえ教務内規の修正を実施した。成績会議資料の作成、会議の運営等のシステムを構築し、生徒の履修に係る現状を共有することができた。</p> <p>選択科目の学習計画を作成し、令和5年度版のシラバスを作成した。各教科の学力の伸び率が報告され学力向上の現状が共有できた。体力テストの結果は東京都平均近く良好であった。</p>

<p><b>進路指導</b></p> <p>【15.キャリア教育】◎産社の運営が成功する。履修指導が成功する。将来設計によって生徒の満足度が上昇する。各ゼミが活性化する。</p> <p>【16.進路指導】生徒のマッチングを重視する。総合選抜型入試に対応する。国公立大学進学に対応する。</p> <p>【17.学習評価、調査書・ポートフォリオ】生徒の成長を複数の方法で評価する。生徒の自己肯定感の上昇。</p>	<p>産社の計画的実施。地域と連携した外部人材の活用。教科を横断した学習の実践。本物体験・ゼミ体験の実施。体験的な学習の実施。令和5年度FD関係の学習計画作成。</p> <p>上級学校体験、学問研究の実施。模試、夏季講習の実施。模試結果分析会、進路面談等の情報共有のシステム構築。</p> <p>観点別評価の実施。</p>	<p>私は、自分で作る時間割に満足している（生徒84.8%）。</p> <p>私は、進路に関して有益な情報提供を行っている（教員78.6%）。 夏季講習10講座のべ131名参加。</p> <p>私は、学習面で自信がついた（生徒49.7%）。</p>	<p>【達成度 A】</p> <p>本物体験や柱の科目体験を通して課題研究をゴールとした履修指導ができた。外部連携やラーニングプランなどの工夫で生徒の将来設計に寄与した。1・2年次用「進路の手引き」を作成した。新入生説明会で履修指導を実施した。</p> <p>授業内での進路指導や選択科目の学びの先の紹介など進路選択に有効な情報を提供した。基礎力診断テスト結果分析研修会が今後の進路指導に有効であった。</p> <p>年度当初に観点別評価のためのルーブリックを作成し、評価の観点によって学習評価を適正に実施することができた。</p>
<p><b>生活指導</b></p> <p>【18.生活指導】人間関係のトラブルが少ない。学校生活が安心・安全と言える。心の成長（生活習慣、協働資質、ビジネススキル）が促進されている。◎学校生活の満足度、学校への定着率が高い。</p> <p>【19.体罰・いじめ・自殺への対応】交流プログラムが未然防止につながっている。道徳教育が充実する。</p>	<p>毎月、教育相談連絡会を実施。OSLの周知・ルール違反未然防止の徹底。特別指導体制の確立。交通安全指導・マナー指導の実施。ノーチャイム制の実施。</p> <p>交流プログラムでの暴力・いじめ・自殺の未然防止。道徳の年間ホームルーム指導計画への位置づけ。人間と社会の設計。</p>	<p>私は、学校生活のルールや社会のマナーを守っている（生徒93.1%）。</p> <p>私は、精神面で成長した（生徒63.4%）。</p> <p>小台橋高校での生活に満足している（生徒83.4%）。</p> <p>小台橋高校に入学してよかった（生徒90.3%）。</p> <p>学校定着率82.4%。</p> <p>私は、体罰や暴言を無くすための取り組みをしている（教員96.4%）。</p> <p>私は、いじめを無くすための取り組みをしている（教員100%）。</p>	<p>【達成度 B】</p> <p>教育相談連絡会は毎月実施することで生徒の課題を共有しきめ細かな見守りにつながった。担任の丁寧な指導により人間関係のトラブル防止につながった。様々な方策によりTPOに合わせた学校生活ができ、生徒の満足度も高い。</p> <p>交流プログラムにSOSの出し方、アンガーマネジメント、レジリエンスの向上、グループエンカウンターなどを取り入れて実施し事故の未然防止につながった。</p>
<p><b>特別活動・部活動</b></p> <p>【20.特別活動の実施】○生徒のチームワークができている。ホームルームが居場所になる。生徒会活動が始動する。生徒の自助・共助・公助の意識を高めている。</p>	<p>各行事の実施要項作成。年間ホームルーム計画作成。校内美化活動の取組推進。生徒会活動における安全活動や地域貢献活動の実施。避難訓練・防災教育の実施</p>	<p>小台橋高校の学校行事に満足している（生徒73.8%）。</p> <p>学校行事やホームルーム活動を通じて社会性を身に付けている（生徒75.2%）。</p> <p>私は、地域との連携に関わっている（生徒30.3%）。</p> <p>小台橋高校は、事故や災害時等の対応・対策を行っている（生徒82.8%）。</p>	<p>【達成度 B】</p> <p>芸術鑑賞教室、修学旅行の業者を選定し実施計画を立案。スポレク祭・文化祭の実施要項作成。ボランティアサポートチームを設立し地域貢献活動に3回参加した。年4回避難訓練の実施。</p>

<p>【21.課外活動の実施】校内で授業以外に学習する生徒が増加する。活躍する部活動が出現する。ボランティア・勤労者が増加する。</p>	<p>自習室やゼミ室など学習の場の提供運営。オンライン学習の活用促進。</p>		<p>自習室が開室し図書室と合わせて一定の利用者があった。部活動も始まり特に卓球部が活躍した。</p>
<p>健康づくり 【22.健康・保健指導】○交流プログラムが成功している。痛み、悩み、迷い、困り度に応じて相談がしやすい。</p>	<p>教育相談委員会を週時程に配置して実施。交流プログラム等での交流スキル・レジリエンスの向上推進。相談体制の整備。</p>	<p>先生方は、生徒の話をよく聞いてくれる（生徒 90.3%）。 小台橋高校は、悩みや迷いが生じたときに支援を行ってくれる（生徒 83.4%）。</p>	<p>【達成度 B】 交流プログラムで自己肯定感向上、更に実効性の高いものに改良した。教育相談委員会を週時程に配置して実施、YSW・SC と連携し相談のしやすい体制を整備した。</p>

## (2) 重点目標への取組と自己評価

取組	自己評価
<p>重点項目</p> <p>(ア) 学校経営 ◎学校全体が互いに切磋し向上するチームになる。 ○学びやすい環境が作られている。</p> <p>(イ) 募集広報 ◎説明会来場者が増加し入選倍率を確保する。 ○地域の方の評価が高い。</p> <p>(ウ) 学習指導 ◎教科・科目において学力向上を図る。 ○教職員が「小台橋モデル（課題研究を中心とした学びの体系）」を理解し説明できる。</p> <p>(エ) 進路指導 ◎産社の運営が成功する。</p> <p>(オ) 生活指導 ◎学校生活の満足度、学校への定着率が高い。</p> <p>(カ) 特活その他 ○生徒のチームワークができています。 ○交流プログラムが成功している。</p>	<p>【達成度 A】 ほぼ達成</p> <p>達成</p> <p>達成</p> <p>達成</p> <p>ほぼ達成</p> <p>ほぼ達成</p>

## 2 次年度以降の課題と対応策

課題	対応策
<p>(ア) 学校経営</p> <p>①組織の拡大に伴う体制づくり。個々のコンプライアンスを学校改革レベルとし、それぞれの分掌業務が他の分掌に好影響を与え、学校全体が互いに切磋し向上するチームになること。</p> <p>②教員をラーニング・オーガナイザーとして育成し、個々の授業力と業務遂行力を高水準にすること。一方、ハードワークにおいてもライフ・ワーク・バランスを確保してスタッフ全員が生徒のロールモデルになること。</p> <p>③学校が、学びやすく、安心安全の確保された居心地の良い空間になっていること。</p> <p>④学校運営連絡協議会設置や地域との情報交換など連携強化に努め、ステークホルダーの評価を高めること。</p>	<p>①目標の明確化、自己申告制度の活用を図る。ミドルリーダー研修・OJTを実施し、学期ごとの分掌の実績と課題のまとめを実施する。</p> <p>②研修やOJTにより意識改革を行い経営的視点からの業務遂行を促す。また、イクボス宣言、年休取得日数・勤務時間制限目標の設置、学校業務支援員を積極的に活用する。</p> <p>③学習環境の整備・保全、仮設校舎の有効活用、本設校舎移設の実施とグランド改修工事の設計、居場所空間の確保。</p> <p>④学校運営連絡協議会等における意見交換及び学校評価、授業公開や地域貢献活動を実施する。</p>
<p>(イ) 募集広報</p> <p>教育関係媒体で好意的に取り上げられるようになり、教育関係者の訪問数が増加すること。最終的には説明会来場者が増加し、入選倍率を維持すること。</p>	<p>計画的に学校説明会を実施し、中学校・適応教室・フリースクール・塾等を訪問する。WebやSNS、オンラインを活用した広報を展開し広告記事を配信する。また、学習成果を広報する。</p>
<p>(ウ) 学習指導</p> <p>教育課程の改善を目指すこと。教職員が課題研究を中心とした学びの体系を理解し説明できるようにすること。選択科目開講と課題研究の開始に伴い各教科・科目において学力向上を図ること。</p>	<p>教科主任会を定期的に開催する。指導目標の共有。学習計画作成と「多様で柔軟な教育活動」の実践を重ね、生徒の学力を向上させる。</p>
<p>(エ) 進路指導</p> <p>履修登録が成功し、将来設計によって生徒の満足度が上昇すること。各ゼミが活性化すること。生徒のマッチングを重視して大学進学に対応すること。</p>	<p>地域と連携した外部人材の活用。体験的な学習の実施。FD関係の学習計画の完成。上級学校体験、学問研究の実施。模試、夏季講習の実施。模試結果分析会、進路面談等の情報共有のシステム構築。</p>
<p>(オ) 生活指導</p> <p>学校生活が安心・安全で、心の成長が促進され、人間関係のトラブルが少ないこと。その結果、学校生活の満足度、学校への定着率が高いこと。</p>	<p>生活支援体制の再構築。OSLの周知・ルール違反未然防止の徹底、交通安全指導・マナー指導の実施。</p>
<p>(カ) 特別活動・部活動</p> <p>生徒のチームワークができ、ホームルームが居場所になること。生徒会活動・ボランティア活動・課外活動が活性化すること。校内で授業以外に学習する生徒が増加すること。</p>	<p>各行事、ホームルーム活動、校内美化活動を計画的に実施する。自習室やゼミ室など学習の場の提供運営。オンライン学習の活用促進。</p>
<p>(キ) 健康づくり</p> <p>生徒が痛み、悩み、迷い、困り度に応じて相談ができること。医療・福祉・警察等隣接領域にリファーできること。外部と連携して課題を解決できること。</p>	<p>校内のセンター的機能としての教育相談分掌の構築。年次ワーカー業務の確立。外部連携体制の整備。教育相談委員会の実施。交流スキル・レジリエンスの向上推進。</p>